

## 次期基本計画に係る審議の整理メモ

審議テーマ	第Ⅲ期基本計画における論点
消費動向指数 (CTI) の開発、精度向上 家計調査の公表早期化	○消費動向指数 (CTI) について、産官学連携の研究協議会を活用するなどして、景気指標として有用なものとなるよう、引き続き開発・精度向上に取り組む。【No. 3】
これまでの統計委員会の意見	<p>〈諮問第 112 号の答申 (平成 30 年 1 月 18 日) 家計調査〉</p> <p>総務省が、世帯全体の消費動向と経済全体の消費変動を包括的に捉えることを目的とした新たな消費指数として「消費動向指数 (CTI)」を開発し、平成 30 年 1 月分から提供を開始することと合わせ、本調査の集計結果を含め、家計消費に関連する統計を同時・一体的に公表することにより、消費動向のより正確な把握や総合的な分析が可能となると考えられることから、適当である。</p> <p>なお、計画の変更により、一部の公表時期について繰下げになるものもあることから、今回の変更の趣旨及び効果について、十分な広報及び周知が必要であることを付言する。</p> <p>〈次期基本計画の策定に際しての統計委員会委員の意見〉</p> <p>第 1 WG「QE の推計精度の確保・向上等に係る取組について」の審議の中で、「家計調査は、数年前まで翌月末に公表していたが、調査の見直しにより現在の翌々月上旬となった。すでに調査の見直しの影響はなくなっているはずであり、前倒しは可能ではないか」との意見あり。</p>
各種研究会等での指摘	—
担当府省の取組状況の概要	<p>〈令和 3 年度統計法施行状況報告 (暫定版)〉</p> <p>消費動向指数 (CTI) について、更なる速報性と精度向上に向けた課題を整理し、産官学連携の「消費動向指数研究協議会」(研究評議会)において検討を行った。【総務省】</p> <p>〈家計調査の公表について〉</p> <p>資料 5 - 2 参照</p>
次期基本計画における取扱い及び基本的な考え方 (案)	<p>○消費動向指数 (CTI) については、総務省において精度向上に向けた課題の整理が進められていることから、引き続き、次期基本計画に掲載することとしてはどうか。</p> <p>○家計調査の公表時期については、統計委員会において適当とされた家計消費に係る統計の一体的公表の整理に沿った対応が行われており、同時公表される CTI についても精度向上に向けた検討が進められていることから、引き続き、消費動向のより正確な把握や総合的な分析に資するよう、同整理に沿った対応を行うことが適当ではないか。</p> <p>〈基本的な考え方〉</p> <p>○消費動向指数 (CTI) については、家計統計を補完する消費関連の景気指標としてより有用なものとなるよう、引き続き、取組を続ける。【総務省；令和 5 年度 (2023 年度) から実施する。】</p>
備考 (留意点等)	